

夏越の祓いを齋行致しました。

6月28日、深夜から続く激しい雨も収まり、午後からの神事には太陽の光が差し込む中、大和本宮月次祭に併せて夏越の祓いを齋行致しました。

つみけがれ ひとかたしろ くるまかたしろ ごまきとう
罪穢一切を移した人形代、車形代を本殿での護摩祈祷で浄火し、今年初

めて「御嶽山湯立神楽」を本殿前にて執行し、清らかな水を釜に入れ、

火で煮えたぎらしたお湯を撒き祓い清めたのち、大鳥居前に整列し参拝者

一同が「水無月の 夏越の祓え する人は 千歳の命 延ぶと言うなり」

と奉唱しながら、設置された茅の輪を8の字にくぐり祈りを捧げました。

火と水で火水と読むが如く祈願者の息吹を籠めた形代は浄火、清水にて

清められ、上半期の御守護に感謝申し上げ、酷暑を乗り越え、また今年

新型コロナウイルス早期退散を願い、下半期も幸多き御守護を祈りました。

7月7日まで茅の輪を設置しておりますので是非御参拝下さい。



齋主祝詞奏上



祈願者名奉読



護摩祈祷



形代清祓



御嶽山湯立神事



御湯撒き



真心を捧げる



御神威を戴く



夏越の祓い奉唱



参拝者



本殿前大鳥居



茅の輪